

平成22年度の実績

(1) 参加団体の集票点数

平成22年度の1年間の集票点数は4億8978万8444点で計画点数を約4500万点上回りました。平成21年度の実績と比べると、約930万点の増加で、伸び率は約1.9%になりました。前年度実績を上回ったのは4年連続で、運動開始以来の累計は243億5341万7446点になります。

(2) 設備購入金額

ベルマーク資金で、学校がこの1年間に設備品を購入した金額は5億1894万478円で、前年度に比べ約700万円の減少、伸び率はマイナス1.4%になりました。購入金額は3年連続で前年度を上回っていましたが、ここにきて少し落ち込みました。累計は230億3163万7970円になります。

(3) 参加団体数の変動

参加団体(幼・小・中・高)は52減少し、平成23年3月末現在、28,256となっています。世帯数では約891万世帯になります。参加児童・生徒数は約989万人です。

年度末の学校種別の参加数、参加率と増加数は次の通りです。

| | (参加数) | (全国総数) | (参加率) | (増減数) |
|-----|--------|--------|-------|-------|
| 小学校 | 15,021 | 22,000 | 68.3% | 45減 |
| 中学校 | 6,713 | 10,814 | 62.1% | 24減 |
| 高校 | 1,180 | 5,116 | 23.1% | 10減 |

なお、幼稚園・保育園、大学等の参加数は次の通りです。

| | (参加数) | (増減数) |
|---------|-------|-------|
| 幼稚園・保育園 | 5,342 | 27増 |
| 大学 | 63 | 11増 |
| 公民館 | 89 | 29増 |

(4) 教育援助事業

平成22年度は、次のような設備品などを、国内と海外の援助対象に贈りました。

(援助金額の1万円未満は四捨五入)

【国内援助】

<へき地学校>

100校に1,979万円の視聴覚備品や理科機器、楽器、スポーツ用具、朝日

ジュニア学習年鑑などを贈りました。都道府県教育委員会に援助対象校の選定を依頼し、財団から対象校に贈呈品リストを示して、希望の教材備品を選んでもらいました。

このほか、教育援助（ソフト援助）として12校を対象に一流選手による一輪車講習会を、5校を対象に理科の実験教室を、3校を対象に「走り方教室」を、4校を対象にイラストレーターによる絵画教室（お絵かき体験塾）を開催しました。また、劇団「東少」による児童向け演劇公演「ベルマーク劇場」を1カ所（静岡県）で開催しました。「にほんのうた」（開発費）をあわせた合計の費用は511万円でした。

<養護学校>

20校に対し希望する視聴覚機材などの教材備品類（390万円）を贈りました。

<盲学校>

70校に録音機能付きのデジタル録音図書読書機（216万円）を贈りました。

<ろう学校>

15校に教材提示装置・IT収納映写ワゴン（289万円）を贈りました。

<病院内学級>

4つの病院内学級に対してパソコンと自学・自習システム（93万円）を贈りました。

【海外援助】

<日本人学校>

日本人学校・補習授業校13校（7カ国）に希望の教材備品（165万円）を贈りました。

<開発途上国援助事業>

以下の2事業に計350万円の援助を実施しました。（括弧内は実施団体）

- | | |
|---|-------|
| ①ラオス・カンボジアに絵本を届ける事業 （シャンティ国際ボランティア会） | 150万円 |
| ②東ティモール保健教育支援 （シェア＝国際保健協力市民の会） | 200万円 |

【友愛援助】

平成21年度に呼びかけた第12回友愛援助に対して138校・園から332万円の拠出の申し出がありました。これに財団の資金568万円を加え総額900万円の事

業費で、以下の5事業を平成22年度の「友愛援助」として実施しました。

<開発途上国への援助>

合計900万円（学校拠出332万円、財団拠出568万円）

5事業の内訳は以下の通り。（括弧内は実施団体）

- ★アフガニスタンの寺子屋を中心とした識字教育支援事業
（日本ユネスコ協会連盟） 300万円
- ★スマトラ沖大地震・大津波で被災した子どもたちへの救援事業
（ジョイセフ） 200万円
- ★カンボジアの子どもたちに対する教育支援事業
（日本ユニセフ協会） 100万円
- ★ラオスの学校図書室整備事業（ラオスのこども） 100万円
- ★「子供の森」計画支援事業（オイスカ） 200万円

【災害被災校への緊急援助】

奄美集中豪雨被災の4小中校・1保育所に、それぞれが希望する総額100万円の設備品を援助しました。

【表彰事業】

朝日新聞社の「朝日のびのび教育賞」の副賞として5学校・団体に各20万円を贈呈しました。

（5）協賛・協力会社

旭硝子株式会社、大王製紙株式会社、株式会社ミヤタサイクルは平成23年3月で協賛会社を脱退しました。また、シルバー精工株式会社は平成23年3月で協力会社を脱退しました。

なお、ブラザー販売株式会社、日本テトラパック株式会社、ナカバヤシ株式会社が平成23年4月に協賛会社として参加しています。

この結果、平成23年3月末現在での協賛会社は59社ですが、4月以降は元の62社を維持しています。協力会社は1社減の15社です。

以上

平成22年度の運動推進活動

ベルマーク運動を発展させるためには、PTAを中心とする参加団体の活動をより盛んにするとともに、資金を提供する協賛・協力会社の輪を広げることが大切です。50年目にあたる平成22年度、財団では、さまざまな「50周年記念事業」を実施、その効果ばかりではないでしょうが、集票点数は、予算点数を4500万点も上回る4億8978万点となり、前年比プラス1.9%、4年連続の前年比プラスとなりました。

(1) ベルマーク新聞・ホームページ

ベルマーク新聞は日刊紙と同じブランケット判、基本8ページで年4回、8万～9万部を発行しました。幼稚園・小中学校などの参加団体をはじめ、文部科学省と都道府県・市区町村の教育委員会、教育関係団体、海外で活動するNGO、マスコミなどにも配っており、運動の主役であるPTAと協賛・協力会社、教育関係団体などを結ぶ絆ともなっています。

内容は、協賛・協力会社の参加・脱退、新しい参加商品の情報などのお知らせ、へき地学校や被災校、海外の子どもたちへの援助の報告をはじめ、PTAなどの参加団体がベルマーク収集のために重ねている様々な工夫や、父兄に協力を呼びかけるために作っているベルマーク便りの紹介、協賛会社の商品や活動に関するクイズなども特集しました。子どものために「読んでみたい本」を紹介した読書欄などもあり、親しまれる紙面にするよう心掛けています。

平成12年(2000年)秋に運用を開始した財団ホームページは、平成22年5月に全面リニューアルしました。キャラクターをあしらい、見やすく親しまれるデザインにするとともに、毎日のようにデータ更新をして、スピード化もはかりました。ベルマーク運動説明会の時期には、PTAによるベルマーク活動体験発表を速報しており、アクセス数は月平均30万ページ・ビューを超えています。

(2) ベルマーク運動説明会

参加PTAなどの新任役員を対象に、ベルマーク運動の趣旨や活動の方法などを紹介するもので、毎年、PTA役員が決まった直後の5月連休明けから6月末まで実施しています。

平成22年度は47都道府県の94都市・地域で計102回開催を計画しました。口蹄疫の感染拡大により、延岡、宮崎の2会場での開会を中止しましたが、最終的に5,391校・園・団体から1万6,230人の参加があり、ここ5年間では最高を記録、ベルマーク運動への関心が再び高まりを見せていることを示しました。中止の2会場に参加予定だった学校等には、運動紹介DVDと資料等を送って対応致しました。

また希望があった協賛会社10数社が、会場での商品配布などを実施されました。

(3) ベルマーク一覧表

B4判カラー刷りで1014万枚作成し、全参加学校や団体にそれぞれの所属人数分＋予備30枚を配りました。ベルマーク集めの資料として欠かせないもので、各家庭の台所などに張ってもらっています。参加商品や点数も変わるので、毎年、改訂しています。

(4) ベルマーク手帳

ベルマーク運動の手引書で、B5判カラー刷り、9万5500部製作して、参加PTAに配布しました。ベルマーク運動の仕組みや、集めたベルマークの整理の仕方など、イラストを使って分かりやすく説明したもので、参加PTAにとっては重宝な手引書です。

(5) お買いものガイド

学校設備品購入のための、B5判カラー刷りの協力会社共同のカタログです。春秋2回製作、参加PTAに送っています。春は巡回説明会での配布用を含めて4万5500部、秋は3万部作り、配布しました。

(6) 大台達成校に感謝状と感謝の盾

ベルマークの集票点数累計が100万点に達した参加団体には感謝の盾、また50万点と、200万点以上には100万点刻みで感謝状を贈りました。

(7) 新聞などへのPR

朝日新聞の各地域版に毎月「ベルマーク便り」のカットで、マークを送ってきた学校、教育設備品を購入した学校名などを掲載しました。8月には「ベルマーク運動 今年も教育助成」のお知らせを全国版に掲載したほか、地域版では援助が届いた様子などが紹介されました。運動説明会の日程告知なども朝日新聞地域版に掲載されています。

また広告特集として平成23年2月20日朝刊に2ページのカラー特集を出稿したほか、50周年でもあり、初めての試みとして協賛全社の連合広告とも言える「ベルマーク一覧表」の全面カラー広告を3月1日から5日にかけて掲載しました。

22年度は「50周年」ということでメディアにも数多く取り上げられました。テレビではTBSの「みのもんたの朝ズバ!」、フジテレビの「特ダネ!」などの全国ネット放送のほか、FMラジオや新聞でも取り上げていただきました。

(8) 50周年記念事業

▽キャラクター「ベルマークファミリー」の決定、愛称募集。さらにデザインに活用したオリジナル回収箱（全参加校・団体配布）、キャラクターシールの製作・配布、ベルマークくんストラップ（説明会参加者に配布）、運動推進ポスター（全校・団体に配布）。

※キャラクターデザインは、ホームページからダウンロードできるようにし、PTAのベルマークだよりに活用できるようにしました。また協賛・協力会社の皆様にも販促ツールや社内資料等に利用していただきました。

▽子ども向けのベルマーク運動ハンドブック「なーるほど！ベルマーク運動」を製作し、

全校配布。HPにも「e b o o k」でアップ。

▽記念ピンバッジを作成し、協賛・協力各社の社会貢献事業参加者などへのPRグッズとして、希望する数をお聞きし、提供致しました。

▽顕彰事業として、47都道府県の各累計点数が1位の小学校に感謝状をさし上げました。

また協賛・協力各社の全社、及び協力銀行の住友信託銀行、長年多額の寄付をいただいているミズノスポーツ振興財団、寄贈マークの整理を続けているボランティア団体「火曜会」にも感謝状や記念の品を贈りました。

▽アンケートの実施

「ベルマーク運動再生5カ年計画」の作成、実施に向けPTAなどの意見を幅広く聞きたいということで、アンケートを行いました。1250の参加団体から回答がありました。援助のあり方を見直したり、協賛・協力会社との連携企画を推進したりするのに参考になる内容でした。詳細は財団ホームページで紹介しています。

役員会等に関する事項

1. 理事会（第105回・第106回・第107回・第108回）

| 開催年月日 | 協議事項 | 会議の結果 |
|---------------|--|-------|
| 平成 22. 6. 3 | 第 1 号議案 平成 21 年度事業報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第 2 号議案 平成 21 年度決算報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第 3 号議案 「最初の評議員選定委員会の運営細則」承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 4 号議案 「最初の評議員選定委員会委員候補者」選任の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 5 号議案 「最初の評議員候補者の推薦」の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 6 号議案 「移行後最初の代表理事及び業務執行理事」選任の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 7 号議案 「移行後最初の評議員並びに代表理事及び業務執行理事の氏名を『定款の変更の案』の附則に記載する」件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 8 号議案 「ベルマーク運動再生 5 カ年計画(骨子)」承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 9 号議案 団体の長などの交代による評議員の退任及び補充選任の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 10 号議案 『定款の変更の案』の一部差し替え」承認の件 | 原案を承認 |
| 平成 22.7.14 | 第 1 号議案 「移行後の『最初の評議員』」承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第 2 号議案 公益法人移行後の「教育支援団体協議会」の設置について | 原案を承認 |
| 平成 22. 10. 21 | 第 1 号議案 『定款の変更の案』の一部変更」承認の件 | 原案を承認 |
| 平成 23. 3. 4 | 第 1 号議案 「公益財団法人ベルマーク教育助成財団定款」の一部変更について | 原案を承認 |
| 〃 | 第 2 号議案 「ベルマーク教育助成財団役員報酬規定」の一部追加と名称変更について | 原案を承認 |
| | 第 3 号議案 「教育応援隊」事業の開始について | 原案を承認 |
| | 第 4 号議案 「友愛援助」事業の見直しについて | 原案を承認 |

| | | |
|---|---|-------|
| | 第5号議案 諸規定の整備の件 | 原案を承認 |
| | 第6号議案 平成23年度事業計画案および収支予算案承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第7号議案 給与制度改革について | 報告を承認 |
| 〃 | 第8号議案 2010年10月の奄美集中豪雨4校1保育所緊急援助について事務局報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第9号議案 協賛会社の加入・脱退および協力会社の脱退について事務局報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第10号議案 友愛援助の第14回呼びかけ対象事業案を承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第11号議案 評議員の退任および補充選任の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第12号議案 事務取扱規定、事務局運営規定の改定案を承認の件 | 原案を承認 |

2. 評議員会（第103回・第104回）

| 開催年月日 | 協議事項 | 会議の結果 |
|----------|--|-------|
| 平成22.6.3 | 第1号議案 平成21年度事業報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第2号議案 平成21年度決算報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第3号議案 「最初の評議員候補者の推薦」の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第4号議案 「移行後最初の代表理事及び業務執行理事」選任の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第5号議案 「移行後最初の評議員並びに代表理事及び業務執行理事の氏名を『定款の変更の案』の附則に記載する」件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第6号議案 「ベルマーク運動再生5カ年計画（骨子）」承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第7号議案 「『定款の変更の案』の一部差し替え」承認の件 | 原案を承認 |
| 平成23.3.4 | 第1号議案 「公益財団法人ベルマーク教育助成財団定款」の一部変更について | 原案を承認 |
| 〃 | 第2号議案 「ベルマーク教育助成財団役員報酬規定」の一部追加と名称変更について | 原案を承認 |
| | 第3号議案 「教育応援隊」事業の開始について | 原案を承認 |
| | 第4号議案 「友愛援助」事業の見直しについて | 原案を承認 |
| | 第5号議案 諸規定の整備の件 | 原案を承認 |

| | | |
|---|---|-------|
| | 第6号議案 平成23年度事業計画案および収支予算案承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第7号議案 給与制度改革について | 報告を承認 |
| 〃 | 第8号議案 2010年10月の奄美集中豪雨4校1保育所緊急援助について事務局報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第9号議案 協賛会社の加入・脱退および協力会社の脱退について事務局報告を承認の件 | 報告を承認 |
| 〃 | 第10号議案 友愛援助の第14回呼びかけ対象事業案を承認の件 | 原案を承認 |
| 〃 | 第12号議案 事務取扱規定、事務局運営規定の改定案を承認の件 | 原案を承認 |

許可・認可・承認に関する事項

なし

契約に関する事項

◇協賛会社の脱退

| 協賛会社 | 所在地 | 参加商品 | 脱退日 |
|-----------------|---------------|--------|------------|
| 11番・大王製紙株式会社 | 新宿区早稲田町70-1 | 生理用品 | 平成23年3月31日 |
| 13番・旭硝子株式会社 | 千代田区有楽町1-12-1 | ガラス、内窓 | 平成23年3月31日 |
| 90番・株式会社ミヤタサイクル | 港区西新橋3-25-31 | 一輪車 | 平成23年3月31日 |

◇協力会社の脱退

| 協力会社 | 所在地 | 扱い商品 | 脱退日 |
|----------------|--------------|---------------------|------------|
| 29番・シルバー精工株式会社 | 新宿区上落合2-28-7 | ラミネートマシン、ミシン、シュレッダー | 平成23年3月31日 |

以上